



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月8日

上場取引所 東

上場会社名 新田ゼラチン株式会社
コード番号 4977 URL <http://www.nitta-gelatin.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾形 浩一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 総務部担当 (氏名) 玉岡 徹

TEL 072-949-5381

四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	27,100	△2.6	1,343	47.9	1,652	97.6	661	63.7
28年3月期第3四半期	27,821	16.7	908	169.7	836	△7.8	404	△34.9

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 954百万円 (56.8%) 28年3月期第3四半期 609百万円 (△63.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	36.02	—
28年3月期第3四半期	22.00	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	39,904	17,584	39.2
28年3月期	37,597	16,876	39.8

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 15,629百万円 28年3月期 14,972百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
29年3月期	—	6.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	△5.1	1,700	33.5	1,400	42.9	800	67.5	43.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無
- (注)詳細は、添付資料P. 3「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	18,373,974 株	28年3月期	18,373,974 株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	162 株	28年3月期	162 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	18,373,812 株	28年3月期3Q	18,373,812 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 当期の経営成績

当第3四半期連結累計期間における海外の経済情勢は、米国を中心として先進国が牽引し、緩やかに回復しています。

日本経済は、緩やかな回復傾向が続いておりますが、英国のEU離脱問題や米国の大統領選後に為替市場や株式市場が大きく変動するなど、不透明感が強まっています。

このような状況のもと、当社グループでは平成30年3月期を最終年度とする中期経営計画を策定し、戦略課題として①高付加価値製品の開発、②最適生産・最適販売、③グローバル経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

この結果、売上高は27,100百万円（前年同期比2.6%減少）、営業利益は1,343百万円（前年同期比47.9%増加）、経常利益は為替差益等により1,652百万円（前年同期比97.6%増加）となりました。また、特別損失として海外子会社等の固定資産除却損346百万円を計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は661百万円（前年同期比63.7%増加）となりました。

② セグメント別の概況

(コラーゲン素材事業)

ゼラチンは、日本では食用及びカプセル用の販売が堅調な流れを維持し、売上高及び利益が増加しました。北米ではカプセル用市況の回復停滞により、売上高は伸び悩みました。

コラーゲンペプチドは、インバウンド需要の減少によって健康食品向けの売上高が減少しましたが、一般食品向けが補いつつあります。

コラーゲンケーシングは、米国内向けが堅調に推移いたしました。

この結果、当該事業の売上高は19,744百万円（前年同期比5.6%減少）、セグメント利益は1,548百万円（前年同期比16.3%増加）となりました。

(フォーミュラソリューション事業)

食品材料は、総菜及び製菓・デザート向けが引き続き堅調に推移し、売上高及び利益が増加しました。

接着剤は、製本用は減少傾向で推移しましたが、衛生材料用の売上高は増加しました。またコストダウン効果によって、利益が改善しました。

この結果、当該事業の売上高は7,355百万円（前年同期比6.4%増加）、セグメント利益は794百万円（前年同期比31.1%増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末比2,306百万円増加の39,904百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金、のれん等が増加したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末比1,598百万円増加の22,319百万円となりました。主な要因は、短期借入金、長期借入金等が増加したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末比707百万円増加の17,584百万円となりました。主な要因は、利益剰余金、その他有価証券評価差額金等が増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は39.2%（前連結会計年度末39.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想は、平成28年11月8日に公表しました「平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」の連結業績予想から変更はありません。

なお、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(表示方法の変更)

(四半期連結損益計算書)

前第3四半期連結累計期間において区分掲記しておりました営業外収益の「受取賃貸料」は、金額的重要性が乏しくなったため、第2四半期連結累計期間より営業外収益の「その他」に含めて表示しております。

この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、営業外収益の「その他」に含まれている「受取賃貸料」の金額は35百万円であります。

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用方針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針26号 平成28年度3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,688	1,952
受取手形及び売掛金	7,375	9,069
商品及び製品	5,262	5,697
仕掛品	1,429	1,141
原材料及び貯蔵品	2,275	2,534
その他	629	804
貸倒引当金	△2	△5
流動資産合計	19,657	21,194
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,412	4,418
機械装置及び運搬具(純額)	5,000	4,620
その他(純額)	4,311	4,949
有形固定資産合計	13,724	13,988
無形固定資産		
のれん	—	425
その他	357	368
無形固定資産合計	357	793
投資その他の資産		
投資有価証券	2,919	2,962
その他	939	965
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	3,858	3,927
固定資産合計	17,940	18,709
資産合計	37,597	39,904

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,252	4,069
短期借入金	2,186	2,845
1年内返済予定の長期借入金	2,215	2,441
未払法人税等	145	396
賞与引当金	213	109
その他	2,062	2,395
流動負債合計	11,076	12,258
固定負債		
長期借入金	5,380	5,905
退職給付に係る負債	2,938	2,884
その他	1,325	1,270
固定負債合計	9,644	10,060
負債合計	20,720	22,319
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,144	3,144
資本剰余金	2,966	2,966
利益剰余金	9,569	10,009
自己株式	△0	△0
株主資本合計	15,680	16,121
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,024	1,125
繰延ヘッジ損益	△38	49
為替換算調整勘定	466	428
退職給付に係る調整累計額	△2,160	△2,094
その他の包括利益累計額合計	△707	△491
非支配株主持分	1,904	1,954
純資産合計	16,876	17,584
負債純資産合計	37,597	39,904

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	27,821	27,100
売上原価	22,136	20,869
売上総利益	5,684	6,230
販売費及び一般管理費	4,776	4,886
営業利益	908	1,343
営業外収益		
受取利息	13	17
受取配当金	29	31
為替差益	34	275
持分法による投資利益	6	112
その他	86	70
営業外収益合計	170	507
営業外費用		
支払利息	227	177
その他	14	20
営業外費用合計	242	198
経常利益	836	1,652
特別利益		
固定資産売却益	1	—
負ののれん発生益	502	—
持分変動利益	157	—
特別利益合計	661	—
特別損失		
固定資産除却損	41	346
段階取得に係る差損	620	—
特別損失合計	662	346
税金等調整前四半期純利益	835	1,305
法人税等	377	570
四半期純利益	458	735
非支配株主に帰属する四半期純利益	53	73
親会社株主に帰属する四半期純利益	404	661

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	458	735
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	50	100
繰延ヘッジ損益	△89	95
為替換算調整勘定	△322	113
退職給付に係る調整額	60	66
持分法適用会社に対する持分相当額	452	△157
その他の包括利益合計	151	219
四半期包括利益	609	954
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	664	878
非支配株主に係る四半期包括利益	△55	76

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	コラーゲン 素材事業	フォーミュラ ソリューション 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	20,906	6,915	27,821	—	27,821
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,448	—	1,448	△1,448	—
計	22,354	6,915	29,269	△1,448	27,821
セグメント利益	1,331	606	1,937	△1,029	908

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,029百万円には、セグメント間取引消去△1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,027百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第1四半期連結会計期間において、ニッタゼラチンインディアLtd.、バムニプロテインズLtd.及びレバプロテインズLtd.を子会社化し連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結会計期間末日における「コラーゲン素材事業」のセグメント資産が4,200百万円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「コラーゲン素材事業」セグメントにおいて、ニッタゼラチンインディアLtd.、バムニプロテインズLtd.及びレバプロテインズLtd.を子会社化し連結の範囲に含めたことにより、当第3四半期連結累計期間において、負ののれん発生益502百万円を計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	コラーゲン 素材事業	フォーミュラ ソリューション 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	19,744	7,355	27,100	—	27,100
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,396	7	1,403	△1,403	—
計	21,141	7,362	28,503	△1,403	27,100
セグメント利益	1,548	794	2,343	△999	1,343

(注) 1. セグメント利益の調整額△999百万円には、セグメント間取引消去6百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,005百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「コラーゲン素材事業」セグメントにおいて、ヴァイスゼラチン, LLCを新たに設立し、新設会社がVyse Gelatin Companyの事業の一部を譲り受けたことにより、のれんを計上しております。

当該事象による増加額は、当第3四半期連結累計期間において、379百万円であります。なお、のれんの金額は取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算出しております。